

「なよろ温泉サンピラー等改修基本設計（案）」に対する市民意見募集の実施結果について

「なよろ温泉サンピラー等改修基本設計（案）」に対して、市民の皆様からご意見を募集しました結果について、ご意見の概要と市の考え方は下記のとおりです。ご意見をお寄せいただきありがとうございました。

寄せられたご意見について参考にさせていただき、実施設計を進めてまいります。

1. 市民意見募集の実施結果

案件名	なよろ温泉サンピラー等改修基本設計（案）
意見等の募集期間	平成 31 年 2 月 12 日（火）～ 3 月 1 日（金）
案の公表方法	1 実施機関が指定する場所での閲覧又は配布 2 市ホームページへの掲載
意見等の提出方法	指定場所に備え付けの「意見提出用紙」に住所、氏名を明記し、持参またはファックス・郵送・電子メールで提出。
結果の公表方法	指定場所での閲覧、市ホームページ
意見等の提出者数・提出件数	提出者 3 人 提出件数 25 件 【内訳】 書面提出：2 人、郵便：0 人、FAX：0 人、電子メール：1 人 その他：0 人

2. 意見の概要と市の考え方について

	市民等の意見の概要	意見に対する名寄市の考え方
温浴施設関係		
1	・5P 資料 2-1：1A 案で、男性浴場のサウナから水風呂までの動線が長いのでは。温泉浴槽については現在の位置が最適と考える。	・今回の改修は、既存建物の基礎・梁等の構造を基本的に変更しない改修を前提（コスト・工期）としているため、浴槽を動かせる範囲が限られてきます。また、洗い場の数も増やすため、そのバランスも踏まえながら検討します。
2	・5P 資料 2-1：現在はサウナ室を出て涼むための椅子が設置されているが、両案ともに設置場所がない。	・今回の案では、洗い場が少ないとの声から洗い場の数を 12 から 16 箇所に増やしており、壁際のスペースは現状に比べ狭くなっています。 図面上には記載されていませんが、サウナ利用者、高齢者など浴室内での休憩箇所も必要と考えています。
3	・5P 資料 2-1：一般浴槽が現状と同様では大き過ぎる。温泉浴槽利用者の方が多いと感じており、可能であれば大きくして欲しい。	・既存ボーリングによる温泉湧出量が北海道から許可されている量の最大となっており、これ以上湧出量増やすことが出来ないため、温泉浴槽を大きくすることは難しいと考

		えています。
4	・5P 資料 2-1：浴槽の位置等は建屋構造が可能であれば見直した方が良い。	・今回の改修は、既存建物の基礎・梁等の構造を基本的に変更しない改修を前提（コスト・工期）としているため、浴槽を動かせる範囲が限られてきます。また、洗い場の数も増やすため、そのバランスも踏まえながら検討します。
5	・5P 資料 2-1：1B 案サウナ室の増築について、屋根構造をどのように考えているか。木造であれば湿気への対応策は。	・増築案の屋根形状・構造については実施設計で検討します。現況の温浴施設も換気設備が設けられていますが、改修後についても必要な能力の換気設備を設置します。
6	・5P 資料 2-1：1B 案サウナ増築案の屋根の雪対策についてどのように考えているか。	・増築案の屋根形状については落雪対策も含めて実施設計で検討します。
7	・5P 資料 2-1：風呂利用者の休憩所において、畳スペースが確保されているのか。	・5P 資料 2-1 の両案ともに休憩室と記載のある箇所については、利用者が横になれるようなスペース（畳とは限らない）として検討しています。
8	・5P 資料 2-1：窓改修で排煙新設とあるが、喫煙が可能ということか。	・建築基準法上、必要な設備であり喫煙のためのものではありません。
9	・5P 資料 2-1：休憩所にトイレを新設するのは良いが、機械室側が良いと考える。	・トイレの設置位置については、利用者の動線などを考慮した上で、今後の実施設計で検討します。
10	・5P 資料 2-1：1B 案サウナ増築案のほうが発展性があると思うが、増築部分に水風呂を設けたほうが良いと考える。改修案の水風呂位置は一般浴室の利用者に対して不愉快にさせる。	・現在の増築案では、増築部分内に水風呂を設けるのは困難で、これ以上増築部分を大きくすることは、敷地形状・コスト的に困難と考えます。また、水風呂の位置につきましては、実施設計内で検討します。
11	・5P 資料 2-1：1B 案の増築部分の構造は工期やコストを考慮して鉄骨や木造にするべき。また視覚的にも小屋感覚を出し、利用しやすい気持ちを誘発させるべき。	・増築部分の構造は、工期・コスト・耐久性・既存部分との取合い等を考慮しながら検討していきます。また、仕上げ等の意匠部分についても機能性や管理性等に考慮して、実施設計内で検討します。
12	・5P 資料 2-1：浴槽の窓は景観を考慮し、可能な限り大きくして、浴槽の水面に近付けてほしい。窓から外の庭も気持ち良さを考え工夫が必要である。	・窓の大きさは、既存建物部分の構造計算等の検討したうえで、実施設計内で検討します。
13	・5P 資料 2-1：浴室の天井から水滴が落ちないようにしてほしい。	・可能な限り、水滴が落ちないような材料を実施設計内で検討します。
客室ユニットバス、ユニットシャワー、地下シャワールーム関係		
14	・6P 資料 2-2：2A 案の地下にシャワー室を設ける場合、イメージ図では床と脱衣所がフラットになっているが、水が脱衣所に流れないよう段差が必要ではないか。	・ユニットシャワーを設置するための段差・仕切りがあるため、水が脱衣所に流れることはない設計とします。

15	<ul style="list-style-type: none"> ・6P資料 2-2：地下または客室にユニットバスまたはユニットシャワーを設置した場合、現在のボイラーで給湯に支障はないのか。ボイラー増設時の燃料は重油か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボイラー能力は実施設計にて詳細に検討しますが、客室にユニットバス等を設置した場合は熱量の不足が予想されるため、機械室を増設し、ボイラー・貯湯槽を新たに設けることが考えられます。燃料についてはイニシャル・ランニングコストも含めて検討します。
16	<ul style="list-style-type: none"> ・本館を合宿専用とした方が良いと考える（一般宿泊の新館利用状況によるが）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本館については、合宿が主な利用となっていますが、合宿繁忙期（7月下旬～8月中旬、12月～1月）以外には、工事関係者や一般客なども本館を利用している状況であり、合宿を中心としながら幅広く利用できるよう考えています。
17	<ul style="list-style-type: none"> ・6P資料 2-2：ユニットバスをもう少しサイズの大きなものであれば問題はないが、現行案ではサイズが小さく、貧弱で窮屈な印象を与えるため、このサイズの3点セット（バス・トイレ・洗面）は使用せずに、別ユニット（バス・洗面）とトイレは別に設置すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・洗面台やトイレを個別にすると、コストが上がってしまいますが、ユニットバスの大きさや各配置等については、機能面やコスト面を考慮して実施設計で検討します。
18	<ul style="list-style-type: none"> ・6P資料 2-2：シャワーユニットの配置について、トイレは音の問題があるので、室内に音が漏れないように配置すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースの中に納まる範囲で、ご意見を参考にして、実施設計内で検討します。
本館_食堂_キッズコーナー関係		
19	<ul style="list-style-type: none"> ・7P資料 2-3：キッズコーナーに利用について、平日の利用率をどのように考えているのか。祝祭日には幼児を連れてきた母親を見るが、平日は殆どいない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズコーナーについては、幼児を連れてきた保護者がスキー学校などに通う子供を待つ場所として要望は高く、スキー学校などが冬休み期間中、週末に開催されることから、週末の利用が多いと想定されるため、平日においては利用状況に合わせて検討します。
20	<ul style="list-style-type: none"> ・7P資料 2-3：キッズコーナーを設置の場合、スキー食堂スペースが狭くなるが良いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休み期間や週末などは、食堂スペースがスキーロッジのみでは足りず、レストセンターも利用いただいています。テーブルの上に荷物を置いたままスキー場を利用している方もいることから、用具入れの利用を促すことによりスペースの確保を行うとともに、引き続きレストセンターを開放することによる対応を考えています。
21	<ul style="list-style-type: none"> ・7P資料 2-3：キッズコーナーの場所をレストセンターとするのはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズコーナーの設置場所については、保護者がグレンデを滑走する子どもを見たいとの要望も高いことから、想定箇所として設計を進めてきましたが、授乳室の位置なども踏まえ検討します。
22	<ul style="list-style-type: none"> ・7P資料 2-3：キッズコーナーの設置は小さな子を持つ親としてありがたい。これまで小さな子供を休ませる場所がなく困っていたため設置を要望します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな子供が居る方も安心して利用できるよう。キッズコーナーや授乳室の設置などの検討を進めています。

レストセンター改修関係		
23	<p>・8P 資料 2-4：レストセンターに更衣室を設置する理由は。（授乳が必要な方を見かけない。レンタル利用者であれば位置が悪い）</p>	<p>・宿泊者でチェックイン前、チェックアウト後の客室を利用できない時間帯でのスキー利用者からの問合せが多く、現在は、更衣室がないため地下浴場の脱衣所を案内しています。</p> <p>授乳室についても、現在、設置がないことから脱衣所を案内しており、脱衣所・授乳室を設置することによりサービス向上に繋がると考えています。</p>
24	<p>・8P 資料 2-4 について、市外客への対応であれば、ブースが足りなくなる。着替えなどの保管場所についても必要である。</p>	<p>・利用者への機能向上として、更衣室設置を検討しています。着替えるブースについては、他のスキー場への聞取りにおいても、マナーを守り順番に利用いただけるよう促しており、問題がないと考えています。着替えなどの保管場所はロッカーの設置などを検討します。</p>
25	<p>・8P 資料 2-4：更衣室を本館地下のスキー保管庫へ設置できないか。チケット購入後に着替えると考える。</p>	<p>・現在は宿泊者用のスキー等保管場所として使用しており、更衣室設置の場合には、一定程度のスペースの確保が必要なことから、基本設計においてはレストセンターでの設置を検討してきました。</p>

[問合せ先]

担当課：経済部営業戦略室営業戦略課

電 話：01654-3-2111（内線 3341）